



ENY ニュース

「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37

TEL : 023-679-3340 FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp WEB : https://eny.jp/



「脱炭素経営セミナーinやまがた」の開催

2050年のカーボンニュートラル社会の実現のためには、大企業のみならず地域の中小企業の取組が重要です。山形県では2023年4月に「山形県脱炭素社会づくり条例(愛称:さくらんぼ未来の地球を守る条例)」が施行されるなど、脱炭素社会実現に向けた動きが加速しております。また、地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、地球温暖化防止活動推進センターの役割として、事業者への支援が求められるようになりました。

今回、地域の中小企業経営者や環境担当者等を対象として、脱炭素経営促進についてのセミナー「脱炭素経営セミナーinやまがた」を山形県、山形県地球温暖化防止活動推進センター、山形県環境保全協議会と共催で、県内2か所(鶴岡、山形)で開催しました。

鶴岡会場は、12月9日(月)に東北公益文科大学大学院鶴岡キャンパス 大学院ホールで開催し、参加者は29名でした。山形会場は、山形県高度技術研究開発センター 多目的ホールで開催し、参加者は80名でした。企業の環境担当者、行政などを中心に多くの方からご参加いただきました。

このセミナーの内容は、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 上席研究員 藤野 純一 様から「脱炭素経営とは?」と題してご講演いただきました。また、エコアクション21認証取得企業であり、「脱炭素チャレンジカップ2023」環境大臣賞グランプリを受賞された、埼玉県の来ハトメ工業株式会社 管理部課長兼EA21環境管理責任者 石原 隆雅 様から「秘伝! CO2 99%削減の術~知識ゼロから挑戦した脱炭素化の全記録~」と題してご講演いただきました。その他に事例紹介として、株式会社山形銀行様から「SDGs/ESG コンサルティングの事例紹介」、株式会社やまがた新電力様から「CO2フリー電力による脱炭素推進」についてご紹介いただき、最後に当法人の事業として「エコアクション21、省エネお助け隊について」紹介させていただきました。

今後も事業者支援として、脱炭素経営に役立てていただけるようなセミナー等を開催して参ります。



挨拶

山形県環境エネルギー部環境企画課
吉田課長



講師

藤野 純一 様



講師

石原 隆雅 様



省エネプラットフォーム構築事業「省エネお助け隊」

令和6年度も終わり、令和7年度を迎えようとしています。本事業は1月末で終了しましたが、思うような結果は出せませんでした。省エネ支援の目標を20件としておりましたが、11件でした。

大企業や省エネ法の特定事業所は省エネの推進について積極的に取り組んでおりますが、県内の中小企業はまだ進んでいないのが現状と思っています。セミナーのアンケート結果でも、いまさらながら参加者に行政の方が多く、取引先から温室効果ガスの排出量について問い合わせがあったとする企業が少なく、等山形県のカーボンニュートラルの達成についてとても心配しています。

企業のカーボンニュートラル推進にはまず、自社のエネルギー使用量を把握することが重要です。エネルギーコストの上昇によって利益が減少しているとの声も聞こえています。省エネの推進は無駄なエネルギーを削減し、その削減されたエネルギーに係るコストは100%利益になりますので、企業にとって有益なことです。

「省エネお助け隊」は山形県内の中小企業の皆様の省エネについて専門家を派遣して、省エネを推進するものです。専門家が省エネ診断を実施して様々な省エネにつながる提案を行います。提案は、運用に関する投資が必要ない提案と設備を更新することで省エネを図る提案を行います。設備更新の提案では可能な限り、投資回収年数まで報告書に記載しておりますので、企業の経営にとって、大変参考になる資料になります。

また現在、次々と省エネ性能の向上した設備が開発されています。これらの設備は国の補助金の対象になっており、これを活用することでより省エネにつながります。

令和7年度も継続して本事業を継続していきますので、省エネを推進してカーボンニュートラルにつなげたい企業がありましたらご紹介いただくと幸いです。私たちは本事業を通じて、山形県の豊かな未来を創造していきたいと思っています。

エコアクション21事業

令和6年度も東北6県の普及啓発活動や認証登録事業所のサポート等を行いました。2025年3月時点での全国の認証・登録事業所数は7,549件、その内環境ネットやまがたでの認証・登録事業所数は336件です。

審査員力量向上研修会の開催や認証登録事業者向けのフォローアップセミナー（青森県、山形県）、新規認証取得に向けた普及推進セミナーや、各県の地球温暖化防止活動推進センターや信金中央金庫と連携した環境マネジメントシステム普及推進セミナーの開催、環境フェア等への出展や関係団体への訪問を行い、東北6県すべてで活動を行うことが出来ました。また、認証登録事業所へのアドバイザー派遣や、個別相談会（毎月第三金曜日に開催）を実施し、事業所からの問い合わせへの対応やフォローアップを行いました。

令和7年度も引き続き、認証登録事業所のフォローアップや、東北6県での普及啓発活動を行なってまいります。



「山形県環境保全協議会 社会貢献事業」

■庄内海岸クリーンアップ活動

令和3年度から開催している「庄内海岸クリーンアップ活動」は今年度で4回目を迎えました。これまでは酒田大浜海岸で開催しておりましたが、今年度は、NPO 法人パートナーシップオフィス様、美しい山形・最上川フォーラム様、ゆらまちっく戦略会議様との連携から由良海岸で、9月14日（土）に開催し41人が参加しました。クリーンアップ活動の他に、アップサイクル事業の紹介。「徐プラ機」の実演、運送ロボットの実演などを行いました。

■森林整備活動

「緑の環境づくり推進事業」助成金を活用し、酒田市飯森山西地区保安林の森林整備活動と研修会を11月17日に開催しました。山形大学農学部食料生命環境学科エコサイエンスコース准教授 菊池 俊一 先生からご指導いただき、研修会と森林整備活動を行いました。



クリーンアップ活動



森林整備活動

「エコカップやまがた 2024」

山形県内各地域の事業者や団体等が行っている「デコ活」や脱炭素に係る実践活動の事例を収集し、発表会や冊子等で広く情報発信・紹介することで、他社や他地域での実践者の拡大及び脱炭素社会づくりを一層推進することを目的として実施しました。

2024年10月19日に開催した発表会では、報告いただいた全50件の取組みの中から実行委員会より推薦された9団体が事例発表を行い、そのうち、「長井市」に『エコカップやまがた大賞』が、「株式会社シェルター」に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

『エコカップやまがた大賞』を受賞した「長井市」は、2025年2月20日に東京で開催された脱炭素チャレンジカップ2025にファイナリストとして出場され、『優秀賞』を受賞されました。



山形県産業科学館 令和6年度事業トピックス

年度当初からの懸案でありました、「コロナ禍前の状態まで来館者数を戻す」を目標に、金曜日、土曜日にチャレンジコーナーで開催するワークショップ(82回)の実施や、各種企画事業(19回)、協賛事業(17回)、自主事業(3回)の他、団体工作(18回)の復活など通常業務の他、1月13日からは山形工業高校建築科にご協力いただき「産業科学館魅力UP 大作戦」の展示を開始し、教室黑板風の背景アートに加え、仮装して記念写真が撮れるフォトフレームの他、ビー玉を利用した手作りの迷路盤とコリントゲームを設置しました。また、産業科学館利用者アンケートの結果及び産業科学館運営協議会でもご指摘をいただきました”宇宙に関する内容の充実”を図るために、7月1日から「日本の宇宙科学の歴史を学ぼう」シリーズのパネルを3期に分けて展示しており、第1期「国分寺から道川へ」「起動への跳躍」、第2期「科学衛星の修行時代」「宇宙の謎との熾烈な闘い」、第3期「トップランナーを目指して」を順次公開しています。加えて2月21日からは4階の空きスペースを利用して、「おしえてジャクマ!ビデオシリーズ」の「よくわかるロケット編」と「よくわかる人工衛星・探索機編」の上映を週替わりで行っています。

さらに、3月21日から23日の期間限定イベントとして、「COSMO BALLOON VR 気球搭乗体験」を実施し、体験時間は概ね10分弱ではありますが、VRというデジタル空間の中で、気球に乗って世界の絶景を巡る旅を体験いただきました。予約制ではありましたが、多くの親子連れの方で賑わいました。



山形県環境科学研究センターでの活動

山形県環境科学研究センター環境情報棟の管理運営を行うとともに、環境教育の普及促進業務を実施しました。今年度も、将来を担う小学生を第一のターゲットとして「小学校向け環境教育」を拡充することにチャレンジしてみました。昨年度の計80件(36校)に対して、今年度は計97件(41校)の実績がありました。

		H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
派遣	アドバイザー派遣	833	875	1,142	142	311	628	426	576
	推進員派遣	1,841	2,483	2,454	570	848	667	1,184	1,241
	環境教室(派遣)	1,758	3,426	2,504	2,259	3,199	4,263	4,058	5,380
来館者数	環境教室(所内)	378	283	339	428	509	543	339	487
	利用、見学、研修	1,139	865	982	829	360	457	527	524
センター計		5,949	7,932	7,421	4,228	5,227	6,558	6,534	8,208

コロナ コロナ コロナ

今年度見通し(実績+予定)は8,208人となっておりますが、過去最高のパフォーマンスとなりそうです。来年度は、更にこれを上回るように活動を進めていきたいと思っております。

山形県学生環境ボランティア(やまカボ・サポーター)

山形県では、県内の大学や大学院に通う学生に「学生環境ボランティア」に登録していただき、県内の環境イベントでのブース出展や講座の開催などで、県民へのカーボンニュートラルの普及啓発を行っています。今年度は、51名の学生に参加いただき、12回の活動を行いました。また、スキルアップのため、県内や県外の再エネ施設に視察研修にも行きました。その他、香川大学の学生との交流などたくさんの活動を実施できました。



山形県産業科学館からのお願い

募集中

山形県産業科学館では、より親しみやすい施設にするために、県民のみならず運営面でのご協力をいただいております。この度、子どもたちなど来館者への展示品の案内をする「ガイドボランティア」、科学イベントやワークショップに対応する「たんけん科学ランド相談員」を募集します。

ご興味のある方や活動の詳細については山形県産業科学館担当：金澤 までお問い合わせください。

☆山形県産業科学館

山形県山形市城南町一丁目1-1 霞城セントラル内

電話 023-647-0771



★スタッフ紹介★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントなど。

<山形エコハウス>



(大場事務局長)

科学的根拠に基づいた協定から離脱する国、サステナブルでない補助金等、なんと脱炭素への道は険しいのでしょうか。風はアゲインスト。フォローの風に変えるべく、粘り強く旗を振り続けましょう。



(長岡事務局長次)

「省エネお助け隊」の長岡です。省エネのこと何でもご相談ください。



(河合主任)

年末に実家の庭に家を建て引っ越ししました。実家目の前、保育園 120 歩と快適です。



(二藤部主任)

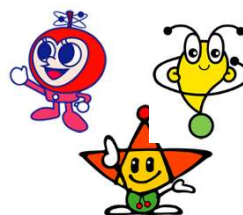
今年度も多くの皆さんにお世話になり、ありがとうございました。早く雪が解けないかなと思う日々です。



(菊地)

今年度もエコアクション 21 の普及と広報に尽力してまいります。

<山形県産業科学館>



館長のもと、合計 11 名の職員で頑張っています。企画展示やワークショップなど様々な事業を行っていますので、ぜひ遊びに来てください。

<山形県環境科学研究センター 情報棟>



(安藤主任)

これからも環境学習の普及促進頑張ります。



(吉田)

近年の気候の変化に負けないように健康に気を付けたいと思います。

令和7年度やまがた未来くるエネルギー種預金(再生可能エネルギー等設備導入促進事業)の募集が始まっています。対象設備は、蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用装置です。先着順となりますので、申込みはお早めに。詳しくは、山形県のホームページをご覧ください。

入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

♪編集後記♪

年度末ギリギリではありますが、なんとか会報誌を発行出来ました。令和 6 年度の事業をほんの一部ご報告しました。来年度はどんな一年になるのでしょうか。決まった事業から随時ご案内しますので、どうぞよろしくお願いいたします。(N)

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ(月 1 回配信)やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しています。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックなどではイベント会場などからアップしています。ぜひ、「いいね」をお願いします♪



フェイスブック



インスタグラム

